

地域女性活躍推進交付金実績報告書(都道府県分)

都道府県名: 京都府

1. 事業名	女性活躍支援ワンストップ拠点推進事業
2. 実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
3. 事業の趣旨・目的	<p>コロナ禍の長期化や原油価格や物価の高騰により、社会面・経済面など様々な困難・課題を抱える女性が増加していることから、女性活躍ワンストップ拠点化(※)した京都テルサを核に、京都府男女共同参画センターの相談体制を強化するとともに、NPO団体等の専門性を生かして、セーフティネットから就業に至るまでの幅広い支援を実施する。</p> <p>(※) 令和4年4月に京都府男女共同参画センター(地域の女性支援)・マザーズジョブカフェ(女性の就労支援)・京都ウィメンズベース(職場での女性支援)を京都テルサに集約し、女性活躍ワンストップ拠点化</p>
4. 事業内容	<p>① 京都府男女共同参画センターの相談体制の強化 京都府男女共同参画センターの相談員を1名増員して電話相談体制を強化すると共にオンライン相談にも対応した。 相談件数 845件 [委託先:一般財団法人京都府民総合交流事業団]</p> <p>② 民間団体による女性相談・伴走支援の実施 民間団体の専門性を活用した無料電話相談や無料カウンセリングを実施するとともに、継続的なサポートが必要な相談者に対して伴走支援を実施した。 ・無料電話相談 438件 [委託先:公益社団法人葵橋ファミリー・クリニック] ・無料カウンセリング 483件 [委託先:株式会社ウィメンズカウンセリング京都] ・府南部地域女性相談 210件 [委託先:特定非営利活動法人アウンジャ]</p> <p>③ 女性活躍応援塾(つながりサポートコース)の実施 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立を受け、女性支援の受け皿となる人材や団体を育成するため、困難女性への支援に取り組むNPO団体等や相談員が塾生となって、支援のノウハウを学びながら困難女性への支援を実践することで、人材や団体を育成するとともに団体の活動を支援した。 ・参加人数 39名 [委託先:一般財団法人京都府民総合交流事業団] ・参加人数 24名 [委託先:ふくちやまCAP]</p> <p>(※) 令和4年4月に京都府男女共同参画センター(地域の女性支援)・マザーズジョブカフェ(女性の就労支援)・京都ウィメンズベース(職場での女性支援)を京都テルサに集約し、女性活躍ワンストップ拠点化</p>
5. 事業効果及び効果検証の概要	<p>相談事業に関しては、コロナ禍の長期化や原油価格や物価の高騰の影響もあり、様々な世代の女性から、様々な相談が多数寄せられた。京都府男女共同参画センター・民間団体の相談窓口共に深刻な深刻な相談も多く寄せられ、当事業が困難を抱える女性のセーフティネットの役割を果たした。 また、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」の成立もあり、女性支援の受け皿となる人材や団体の育成が求められる中、女性活躍応援塾(つながりサポートコース)では55人の参加者があり、多くの人材を育成した。</p>
6. 目標達成度及び達成状況に対する評価	<p>相談件数2,500件の目標に対し、相談件数の実績は3,063件(※)となり、目標を大幅に上回った。広報などを通じて本事業が広く周知され相談が増加したことが要因と考えている。 (※)京都府男女共同参画センターの既存体制での相談件数1,087件を含む</p>
7. 今後の課題	<p>困難を抱える女性への支援が求められる中、女性相談による支援は重要性を増しているが、相談事業実施のための財源確保が課題となっている。</p>
8. 事業の実施体制	<p>① 京都府男女共同参画センターの相談体制の強化 民間団体1社に委託し実施</p> <p>② 民間団体による女性相談・伴走支援の実施 民間団体2社に委託し実施</p> <p>③ 女性活躍応援塾(つながりサポートコース)の実施 民間団体2社に委託し実施</p>